

令和2年度 第1回 久留米市国民健康保険運営協議会議事録

1 日 時 令和2年7月22日（水）～8月14日（金）

2 委 員

区 分	氏 名
公益代表	松岡 保治
	吉武 憲治
	田中 功一
	南島 成司
被保険者代表	馬場 淳子
	甲斐 サエ子
	田中 孝子
	永松 千枝
保険医又は保険薬剤師代表	田中 二三郎
	首藤 俊介
	本村 精二
	杉本 奈緒美
被用者保険等保険者代表	木屋 禎
	権藤 裕子

3 報告事項

- (1) 令和2年度久留米市国民健康保険運営協議会での協議事項について
- (2) 久留米市国民健康保険事業の現状
- (3) 令和元年度久留米市国民健康保険事業特別会計決算（見込）
- (4) 令和2年度久留米市国民健康保険事業特別会計予算
- (5) 久留米市健康保険事業特別会計の財政状況について
- (6) 今後の久留米市国民健康保険運営協議会について(スケジュール)

4 質疑要旨

(1) 令和2年度久留米市国民健康保険運営協議会での協議事項について			
委員	①新型コロナウイルスの影響により、加入者の所得が減少している中で、保険料率の引き上げを行うことは困難である。県への国保事業費納付金の据置き、あるいは減免への対応を講じて頂きたい。	事務局	<p>新型コロナウイルスの被保険者への影響は非常に大きいと認識しています。こうした認識のもと、被保険者に更なる負担を強いることのないよう、納付金の上昇を抑えるための財政措置を、福岡県に対し要望しているところです。</p> <p>今後も、福岡県に対して、久留米市の状況を伝えながら、財政支援を要望していく考えです。</p>
委員	②医療保険加入者（社保）がいずれ国保加入者へ移行するが、疾病を抱える年代での移行となる。今後は国保と医保（社保）の継続的な保健事業の取り組みを具体化すべきである。	事務局	<p>社保と国保の連携は、国においても整備が進められており、健診や保健指導の情報を社保・国保間で結びつけるなどの取組がすでに実施されています。県内でも、福岡県保険者協議会や、福岡県糖尿病対策推進会議等の場での協議が進んでおり、これらの会議体の方針に沿って、本市においても取組を展開したいと考えています。</p> <p>また、本市においては、慢性腎臓病（CKD）や糖尿病の医療連携体制の構築に向け、久留米大学や市内医師会と検討を重ねており、質の高い診療による重症化予防が期待できると考えています。今後も各関係機関と連携し、より早期の体制整備を目指したいと考えています。</p>
委員	令和3年度は、歳入不足額が増え財政状況が厳しくなる。さらに、歳出では、保険給付費の増加が予想されることから、保険料率を引き上げざるを得ないと思うが、新型コロナウイルスの影響に伴い、被保険者の生活が苦しくなると思われる。何を第一に考えるかが問題だと思う。	事務局	<p>国保財政は、令和3年度以降、厳しさを一層増すものと考えられることから、保険料の改定について、検討を行う必要があると認識しています。</p> <p>しかしながら、現状においては、新型コロナウイルスによる被保険者への影響を第一として、慎重に対応を行っていく必要があると考えています。</p>

(2) 久留米市国民健康保険事業の現状		
委員	②保険料収納率について、現年度分は昨年度より減少したが、滞納繰越分は増加したとあるが、不能欠損額の状況(推移)について教えてほしい。	事務局 不納欠損額の過去3年における推移は、平成2年度:230,383千円、平成30年度:192,034千円、令和元年度:146,767千円と、年々減少しています。 なお、不納欠損額の減少要因としては、収納率向上による影響が大きいと分析しています。
委員	国民健康保険事業費納付金が昨年と比べて増加しているのは、医療水準と所得水準が同じ割合で上がっているのか。それともどちらかの割合が高いということか。	令和2年度の納付金が昨年度より上昇した要因は、県全体の医療水準が増加したためです。 本市の医療費水準及び所得水準については、昨年度とほぼ同じです。
委員	①疾病別医療費の割合の中で「精神」の割合が県平均よりも多くなっているが、その原因を教えてほしい。	本市は精神科を含め医療資源に恵まれており、医療機関や病床数は県内他市町と比べ多くなっています。 こうしたことを背景として、本市では通院による機能訓練や精神療法、入院治療などを受けやすい環境にあり、そのことが医療費に影響しているものと考えています。
委員	②新型コロナウイルスによる国民健康保険への影響および対応を教えてください。	新型コロナウイルスによる国民健康保険への影響は、医療費や収納率に表れております [医療費] ・緊急事態宣言中の4月・5月は外来を中心に大幅減となりました。 ・特に5月は昨年度と比較し、外来で17.20%の減、全体では11.43%の減となりました。 ・なお、6月においては、ほぼ例年並みに戻っています。 [収納率] ・令和元年度の現年度分収納率が前年度(94.80%)比、0.11ポイント減の94.69%となりました。

			<p>また、本市では新型コロナウイルスへの対応として、「傷病手当金の支給」や「保険料の減免」、「保険料の徴収猶予」などの支援措置を実施しています。</p>
委員	<p>①医療費適正化の取組みについて、ジェネリックの普及促進には薬局も力を入れている（ジェネリック使用率 75%以上の薬局が県内全体で 72%以上ある）。これ以上は、進まないかもしれない。80%以上になればかなり財政的にもいいと思うがそれには医師の協力がもっと必要と感じている。</p>		<p>ジェネリック医薬品の普及促進に向けては、これまで 300 件/月送付していた勸奨通知を、令和 2 年度から 500 件/月に拡大することとしています。</p> <p>今後においても、医師会をはじめ、関係機関との連携強化に努めながら、更なる普及促進に取り組んでいきたいと考えています。</p>
委員	<p>②医療費適正化の取組みについて、ポリファーマシーの推進を医師会と協力して行っていけたらいいと思っている。</p> <p>福岡県薬局数 2,904 薬局 後発医薬品調剤体制加算 I:211 薬局 II:626 薬局 III:1,264 薬局 計:2,101 薬局（比率 72.3%）</p>		<p>ポリファーマシーの解決のためには、まずは被保険者への十分な周知が重要であると考えています。</p> <p>こうしたことから、本市では、国保世帯に送付する医療費通知に「お薬手帳の持参」や「飲み残しのある薬がある場合の薬局薬剤師への相談」を記載するなどして、啓発を行っています。</p> <p>併せて、重複服薬者に対しては、保健師による訪問指導を実施しています。</p> <p>今後は、これら取り組みによる効果を見極めながら、必要な対応を検討していきたいと考えています。</p>
<p>(3) 令和元年度久留米市国民健康保険事業特別会計決算（見込）</p>			
<p>質疑なし</p>			
<p>(4) 令和 2 年度久留米市国民健康保険事業特別会計予算</p>			
委員	<p>新型コロナウイルスの影響が国保にどのような形で現れるのか見当がつかず、県全体の状況を見ていく必要がある。</p> <p>県が保険者となっているため、久留米市だけの医療費ではなく、全体</p>		<p>本市の医療費は、緊急事態宣言中の 4 月・5 月は減少し、6 月には例年並みに戻っています。県内自治体においても同様の傾向にあると考えています。</p> <p>一方、納付金については、過去複数</p>

	の医療費を見る必要があるが、納付金への影響はどうなるのか？		年の医療費実績に基づいて算定するため、一人あたりの医療費が増加していけば、それに比例して納付金も増加することとなります。
(5) 久留米市健康保険事業特別会計の財政状況について			
委員	(1)①で述べたとおり、厳しい状況であることに変わりない。		
委員	(1)で述べているのと同様の意見		
委員	保険料率を引き上げる予定か教えてほしい。		<p>現段階では、令和3年度の国保事業費納付金の状況が見通せないため、保険料率改定の必要性については、判断することができません。</p> <p>基本的には、納付金の増加によって、財源の不足が見込まれれば、保険料率改定の必要性が出てくるものと考えています。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、被保険者の生活は逼迫した状況にあるため、保険料改定については、慎重に検討する必要があると考えています。</p>
(6) 今後の久留米市国民健康保険運営協議会について(スケジュール)			
質疑なし			